

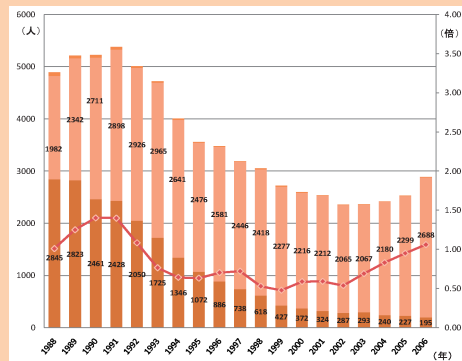
知的障害のある子どもの勤労観、職業観を育てる系統的な指導内容・方法とは？

【研究を行った背景】

- ① 卒業後の職業的な自立の推進や地域生活の一層の充実をめざした障害者福祉施策、障害者雇用施策等の強化
- ② 早期からの一貫性、系統性のある職業教育、進路指導の一層の充実学校と福祉、労働等の関係機関と一体となった移行支援の推進
- ③ 「キャリア教育」の視点から児童生徒の勤労観、職業観を育む教育の改善、充実を一層重視

【知的障害特別支援学校及び特別支援学級卒業者の就職者数の動向】

就職者数は1991年をピークに年々減少してきましたが、2003年以降増加しています。景気の影響も考えられます。



【研究の内容及び結果】

以下の研究成果に基づき、知的障害教育における「キャリア発達段階・内容表（試案）」を作成しました。

- (1) 日本の教育施策におけるキャリア教育の位置づけ、研究成果の整理
- (2) 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科の目標、内容におけるキャリア教育関連事項の整理
- (3) Paul Wehman & John Fregel の「小学校、中学校、高等学校において特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒の機能的カリキュラム」(Cheryl Hanley-Maxwell & Collet-Klingenberg「学校が有すべき職業的カリキュラム」)
- (4) 研究協力校における職業教育、進路指導等に関する実践及びキャリア教育に関する先行研究等

表1に本研究で整理したキャリア発達段階内容表(試案)の各能力領域における観点とその系統性を示します。そして表2にキャリア発達段階・内容表(試案)の全体構造を示します。

表1 キャリア発達段階・内容表(試案)の
各能力領域における観点とその系統性

	小学部(小学校)	中学部(中学校)	高等部	卒業後の生活
各教科等	○小学部教育の目標 ・小学部の各教科 ・小学校道徳の目標 ・小学校特別活動の目標 ・自立活動	○中学部教育の目標 ・中学部の各教科 ・中学校道徳の目標 ・中学校特別活動の目標	○高等部教育の目標 ・高等部の各教科 ・高等部道徳の目標 ・高等学校特別活動の目標	
人間関係形成能力	人とのかわり ・集団参加 ・意思表現 ・挨拶・清潔・身だしなみ	自己理解 ・他者理解 ・協力・共同 ・場に応じた言動		
情報活用能力	様々な情報への関心 ・社会のきまり ・金銭の扱い ・役割の理解と分担	情報収集と活用 ・金銭の管理 ・働くことの意義	社会のルールと制度の理解 ・消費生活の理解	
将来設計能力	習慣形成 ・夢や希望	役割の理解と実行 ・生きがい・やりがい ・進路計画		
意思決定能力	目標設定 ・選択 ・振り返り	選択(決定、責任) ・肯定的な自己評価	自己調整	

【研究結果からの提言・研究結果の活用】

表2の「キャリア発達段階・内容表（試案）」は、特別支援学校（知的障害）や知的障害特別支援学級に在籍する児童生徒の早期からの一貫性、系統性のあるキャリア教育を推進するための枠組みであり、関係者の価値観を共有する「歩み」を生み出す指標、ツールでもあります。活用の視点として、次の5点を提案します。

- ① 特別支援学校(知的障害)における小、中、高等部の一貫性のある職業教育、進路指導(進路学習)の充実と、教育内容の系統性を明確にした教育課程の改善及び評価への活用
- ② 個別の指導計画、個別の教育支援計画(移行支援計画)への反映
- ③ 中学校特別支援学級と特別支援学校高等部におけるキャリア教育の連続性の確保
- ④ 小学校、中学校における交流及び共同学習等における活用
- ⑤ 福祉、労働等の関係機関と連携した就労支援の展開における活用

表2 キャリア発達段階・内容表（試案）の全体構造

[illegible]

勤労観、職業観の育成を目指す教育活動の具体化に当たっては、地域や学校の特徴を踏まえて行う必要があることから、これを「試案」とし、学校、地域における実践に活用され、検証されていくことを期待しています。

【関連情報】

平成18・19年度課題別研究報告書
知的障害者の確かな就労を実現するための指導内
容・方法に関する研究

本報告書は、次のような構成で作成しています。

研究の目的・内容・実施状況

第一章 知的障害教育における職業教育、進路指導とキャリア教育

第二章 今日の障害者雇用施策と今後の課題

第三章 「キャリア発達段階・内容表(試案)」の作成
第四章 研究協力校における実践報告

北海道伊達高等養護学校の実践／岩手県立盛岡高等養護学校の実践／千葉県立特別支援学校流山高等学園の実践／東京都立南大沢学園養護学校の実践／京都市立白河総合支援学校の実践／沖縄県立名護養護学校の実践

資料 特別支援学校学習指導要領におけるキャリア教育関連事項

本リーフレットは、研究所で行った次の研究を基に作成しています。

【研究課題名】

知的障害者の確かな就労を実現するための指導内容・方法に関する研究

(平成18年度～平成19年度)

【研究組織／問い合わせ先】

研究代表者

木村宣孝

046-839-6860 (直通)

046-839-6908 (FAX)

E-Mail kimura@nise.go.jp

所内研究分担者

萩本良二、徳永豊、小澤至賢、
太田容次、内田俊行、齊藤宇開

研究研修員

菊地康弘（青森県立八戸第二養護学校）

小林和子（長野県長野養護学校）

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (National Institute of Special Needs Education; NISE)
〒239-8585 神奈川県横浜須賀野比5-1-1 TEL:046-839-6803 URL:<http://www.nise.go.jp/>